



なかしん

中小企業景況レポート

No.23 中栄信用金庫 地域支援部

平成 29 年 4 月～6 月実績と平成 29 年 7 月～9 月見込み

◆調査概要

調査時期 平成 29 年 6 月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 346 社
回答企業数 335 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	95	94	98.9
卸売業	26	26	100.0
小売・飲食業	66	65	98.4
サービス業	55	52	94.5
建設業	63	60	95.2
不動産業	41	38	92.6
合 計	346	335	96.8

◆4月～6月期の概況

～景況感は改善し、初めてプラス域となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は 4.2 を示し、前回調査（平成 29 年 1 月～3 月期）に比べ 9.1 ポイントの改善となりました。これは、製造業・卸売業を中心とした受注の回復とともに、一部では、個人消費の持ち直しの動きに加え、商品やメニューの見直しに伴う価格改定により、仕入価格上昇分の価格転嫁が進んだことから、建設業以外の 5 業種で景況感が改善し、業況判断 D.I. は、調査開始以来、最も高い値となっております。また一部企業においては、生産能力の増強に向けた機械設備の新・増設に踏み切る動きが見受けられるものの、長引く材料・仕入価格の高止まりに加え、人手不足に伴う人件費・外注費の負担増などの厳しい収益環境への懸念が足かせとなり、積極的な設備投資に慎重な姿勢を堅持する様子が窺えます。

また、特別調査によると、3～5 年後の自社の事業見通しを「明るい」局面と見込む企業は約 2 割、「どちらともいえない」が約 6 割、「暗い」局面と見込む企業は約 1 割強と回答し、先行き不透明感が残る中、中長期的には、約 4 割の企業が、新たな販路・市場開拓または新商品・サービス開発への事業展開を検討していることから、事業の見直しを図る動きも見受けられます。

項目別にみると、売上実績 D.I. は 12.0 ポイント改善の 11.1、収益実績 D.I. は 7.5 ポイント改善の 3.0 となっております。また、仕入価格 D.I. は上昇感が強まり 6.8 ポイント上昇の 25.3、資金繰り D.I. は 8.0 ポイント改善の▲9.6 となっております。

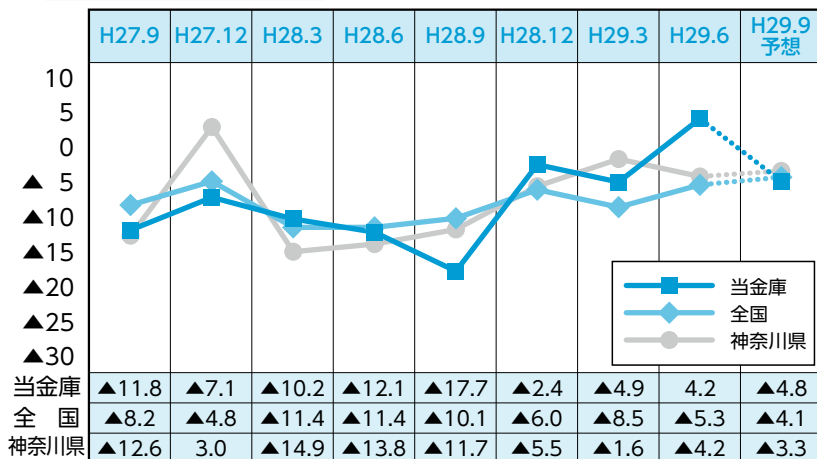
また業種別の景況感は、卸売業が 50.1 ポイント改善の 27.0、サービス業が 18.0 ポイント改善の 0.0、製造業が 7.4 ポイント改善の 11.7、小売・飲食業が 7.2 ポイント改善の▲15.9、不動産業が 5.2 ポイント改善の 7.9、建設業が 10.8 ポイント悪化の 5.0 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、3.2 ポイント改善の▲5.3、神奈川県内は、2.6 ポイント悪化の▲4.2 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は、9.0 ポイント悪化の▲4.8、売上額 D.I. は 14.7 ポイント悪化の▲3.6、収益 D.I. は 10.5 ポイント悪化の▲7.5 の予想となり、小売・飲食業以外の 5 業種で悪化の見込みとなっております。

業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

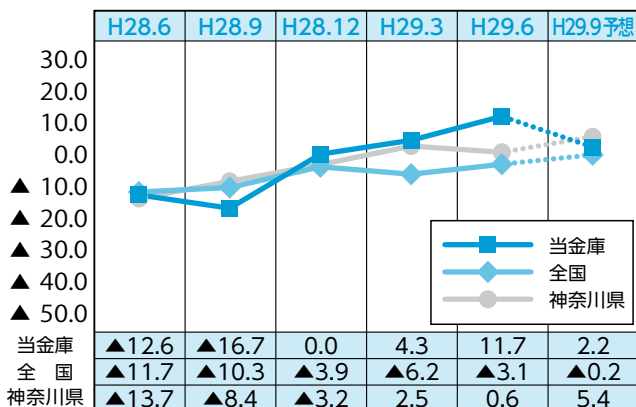
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.4 ポイント改善の 11.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 14.7 ポイント改善の 25.5、収益 D.I. は 17.0 ポイント改善の 18.1 となっております。

これは輸出関連企業を中心とした受注の持ち直しに加え、一部では、試作品の量産移行や機械設備の導入に伴う生産体制の強化により、約 4 割強の企業が、前回に比べ、売上増加と回答したことから、景況感は 3 期連続の改善に至ったものと思われます。また、一部企業においては、迅速な顧客対応に向け、IT を活用した受注の効率化に取り組む動きや新たな技術の開発に注力し、販路開拓を目論む動きも見受けられます。

なお、全国は 3.1 ポイント改善の ▲3.1 となっており、神奈川県は 1.9 ポイント小幅悪化の 0.6 となっております。

来期の予想業況判断については、9.5 ポイント悪化の 2.2 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	33.3	44.2	22.5	D.I. 10.8
当期実績	45.7	34.1	20.2	25.5
来期予想	26.5	54.4	19.1	7.4
前年同期比	44.6	33.1	22.3	22.3

販売価格

前期実績	3.2	88.2	8.6	D.I. ▲5.4
当期実績	11.7	79.8	8.5	3.2
来期予想	6.3	88.4	5.3	1.0

在庫

前期実績	12.9	85.0	2.1	D.I. 10.8
当期実績	6.3	91.6	2.1	4.2
来期予想	3.1	95.9	1.0	2.1

人手

前期実績	8.6	50.6	40.8	D.I. ▲32.2
当期実績	6.3	59.7	34.0	▲27.7
来期予想	4.2	65.0	30.8	▲26.6

収益

前期実績	24.7	51.7	23.6	D.I. 1.1
当期実績	36.1	45.9	18.0	18.1
来期予想	23.4	58.6	18.0	5.4
前年同期比	40.4	38.4	21.2	19.2

原材料価格

前期実績	24.7	74.3	1.0	D.I. 23.7
当期実績	30.8	68.2	1.0	29.8
来期予想	19.1	79.9	1.0	18.1

資金繰り

前期実績	11.8	70.0	18.2	D.I. ▲6.4
当期実績	17.0	63.9	19.1	▲2.1
来期予想	14.8	65.0	20.2	▲5.4

設備状況

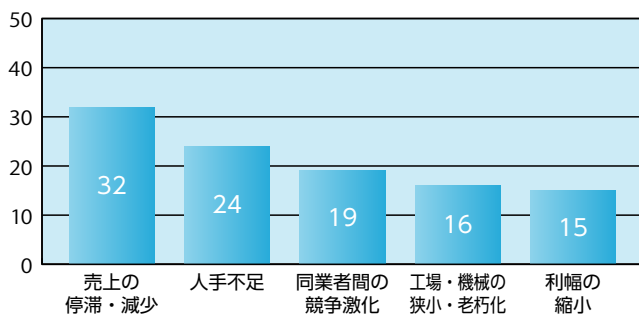
前期実績	7.6	70.7	21.7	D.I. ▲14.1
当期実績	9.5	73.5	17.0	▲7.5
来期予想	6.3	76.7	17.0	▲10.7

当期実績…29年 4～ 6 月期
来期予想…29年 7～ 9 月期

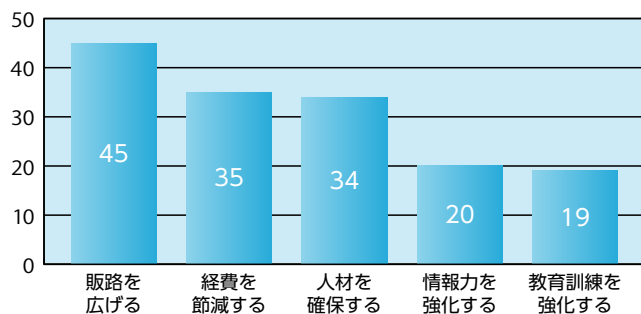
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸 売 業

●概 況

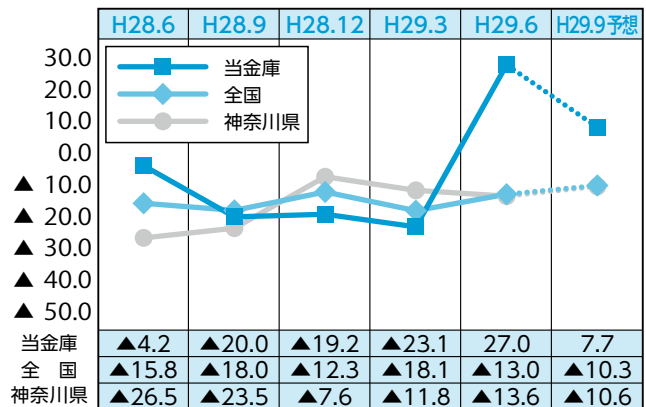
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 50.1 ポイント改善の 27.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 34.6 ポイント改善の 19.2、収益 D.I. は 34.6 ポイント改善の 15.4 となっております。

約 7 割の企業が販路拡大を重点経営施策とする中、建材卸や機械部品卸を中心とした受注の回復に加え、一部企業においては、新規取引先の獲得に伴う売上増加により、売上額・収益 D.I. が改善したことから、景況感の大幅な改善に至ったものと思われます。また経営上の問題点として、小口注文・多頻度配送の増加を挙げる企業が増加していることから、効率的な配送及び人材の確保が今後の課題となっております。

なお、全国は 5.1 ポイント改善の▲13.0 となっており、神奈川県は 1.8 ポイント小幅悪化の▲13.6 となっております。

来期の予想業況判断については、19.3 ポイント悪化の 7.7 と予想されております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	19.2	46.2	34.6	D.I. ▲15.4
当期実績	38.4	42.4	19.2	19.2
来期予想	15.3	61.7	23.0	▲7.7
前年同期比	34.6	42.4	23.0	11.6

販売価格

前期実績	7.6	88.6	3.8	D.I. 3.8
当期実績	11.5	80.9	7.6	3.9
来期予想	23.0	65.5	11.5	11.5

在庫

前期実績	7.6	88.6	3.8	D.I. 3.8
当期実績	8.0	88.0	4.0	4.0
来期予想	8.0	84.0	8.0	0.0

人手

前期実績	7.6	73.2	19.2	D.I. ▲11.6
当期実績	3.8	73.2	23.0	▲19.2
来期予想	3.8	80.9	15.3	▲11.5

収益

前期実績	11.5	57.8	30.7	D.I. ▲19.2
当期実績	30.7	54.0	15.3	15.4
来期予想	11.5	65.5	23.0	▲11.5
前年同期比	30.7	50.1	19.2	11.5

仕入価格

前期実績	23.0	73.2	3.8	D.I. 19.2
当期実績	28.0	64.0	8.0	20.0
来期予想	24.0	68.0	8.0	16.0

資金繰り

前期実績	3.8	69.3	26.9	D.I. ▲23.1
当期実績	11.5	73.2	15.3	▲3.8
来期予想	7.6	73.2	19.2	▲11.6

設備状況

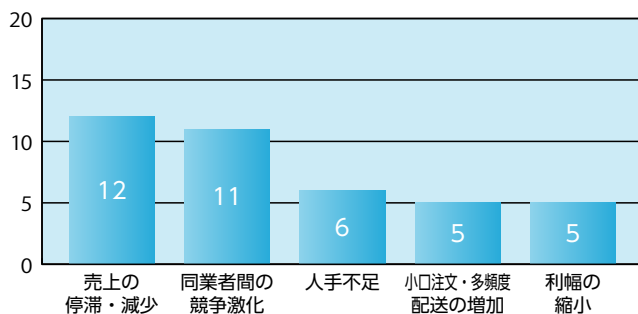
前期実績	7.6	80.9	11.5	D.I. ▲3.9
当期実績	4.0	80.0	16.0	▲12.0
来期予想	4.0	84.0	12.0	▲8.0

当期実績…29年 4～ 6月期
来期予想…29年 7～ 9月期

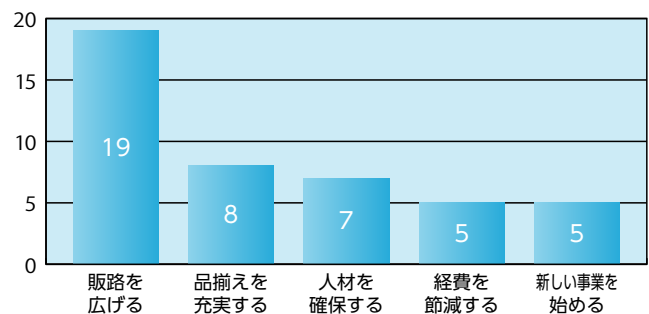
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

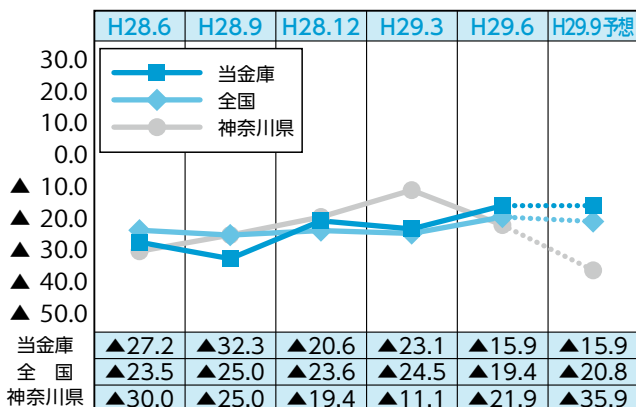
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.2 ポイント改善の▲15.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 15.6 ポイント改善の 4.6、収益 D.I. は 17.1 ポイント改善の 7.8 となっております。

仕入価格 D.I. が 9.4 ポイント上昇の 25.0 と上昇感が強まる中、一部では、商品・メニューの見直しに伴う価格改定により、仕入価格の上昇分を、販売価格に転嫁する動きがみられたことに加え、大型連休等の個人消費の持ち直しの動きにより、企業マインドの改善につながったものと思われます。しかし業況は、依然としてマイナス域で推移し、6 業種の中で最も厳しいことから、一部企業においては、既存事業との相乗効果を高めるため、新たなサービス展開を検討する動きも見受けられます。

なお、全国は 5.1 ポイント改善の▲19.4、神奈川県は 10.8 ポイント悪化の▲21.9 となっております。

来期の予想業況判断については、横這いの▲15.9 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	26.5	36.0	37.5	D.I. ▲11.0
当期実績	29.6	45.4	25.0	4.6
来期予想	20.3	48.5	31.2	▲10.9
前年同期比	23.8	42.9	33.3	▲9.5

販売価格

前期実績	6.2	84.5	9.3	D.I. ▲3.1
当期実績	14.0	82.9	3.1	10.9
来期予想	7.8	89.1	3.1	4.7

在庫

前期実績	17.1	79.8	3.1	D.I. 14.0
当期実績	20.3	76.6	3.1	17.2
来期予想	10.9	86.0	3.1	7.8

人手

前期実績	4.6	59.5	35.9	D.I. ▲31.3
当期実績	10.9	53.2	35.9	▲25.0
来期予想	11.2	56.6	32.2	▲21.0

収益

前期実績	25.0	40.7	34.3	D.I. ▲9.3
当期実績	29.6	48.6	21.8	7.8
来期予想	14.0	56.4	29.6	▲15.6
前年同期比	20.6	49.3	30.1	▲9.5

仕入価格

前期実績	17.1	81.4	1.5	D.I. 15.6
当期実績	28.1	68.8	3.1	25.0
来期予想	23.4	73.5	3.1	20.3

資金繰り

前期実績	3.1	67.3	29.6	D.I. ▲26.5
当期実績	4.6	67.3	28.1	▲23.5
来期予想	4.7	62.0	33.3	▲28.6

設備状況

前期実績	3.1	75.1	21.8	D.I. ▲18.7
当期実績	1.5	79.5	19.0	▲17.5
来期予想	1.5	79.5	19.0	▲17.5

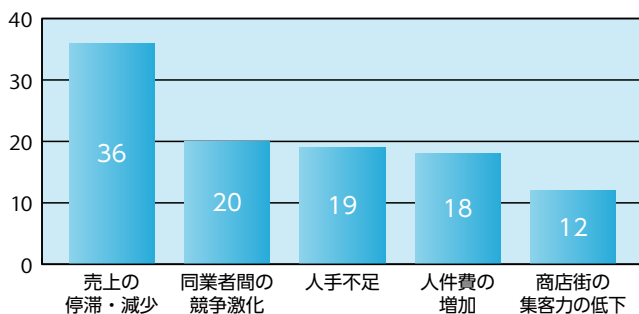
当期実績…29年 4～ 6月期
来期予想…29年 7～ 9月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

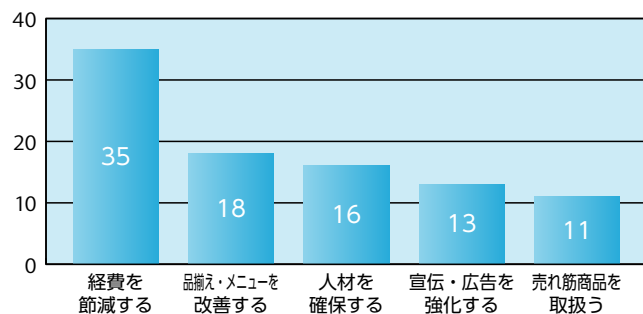
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

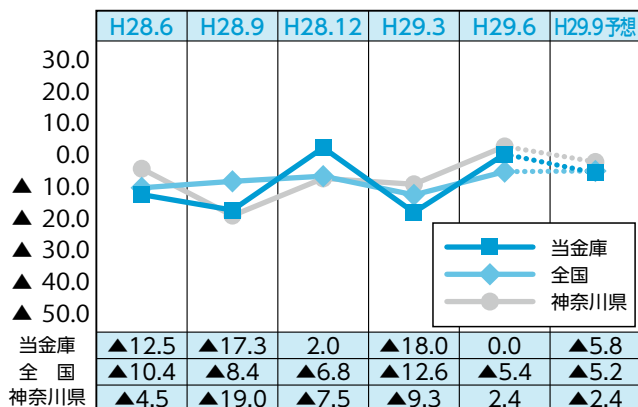
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査から 18.0 ポイント改善の 0.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 31.4 ポイント改善の 2.0、収益 D.I. は 17.9 ポイント改善の▲11.5 となっております。

医療・介護事業の利用者数の増加に加え、一部の自動車整備業、クリーニング業の売上回復により、売上額・収益 D.I. が改善し、業況改善に至ったものの、慢性的な人手不足を背景に、機会損失が生じている企業も見受けられることから、人材の確保とともに教育訓練の強化・定着化が今後の課題となっております。また、約 2 割の企業が、機械・設備の更改または新・増設を実施するとともに、一部企業においては、事業所の新設を計画する動きも見受けられます。

なお、全国は 7.2 ポイント改善の▲5.4 となっており、神奈川県は 11.7 ポイント改善の 2.4 となっております。

来期の予想業況判断については、5.8 ポイント悪化の▲5.8 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	13.7	43.2	43.1	D.I. ▲29.4
当期実績	34.6	32.8	32.6	2.0
来期予想	21.1	48.2	30.7	▲9.6
前年同期比	26.9	42.4	30.7	▲3.8

料金価格

前期実績	-5.8	82.5	11.7	D.I. ▲5.9
当期実績	-7.6	88.6	3.8	3.8
来期予想	-7.6	86.7	5.7	1.9

資金繰り

前期実績	-7.8	55.0	37.2	D.I. ▲29.4
当期実績	-9.6	59.7	30.7	▲21.1
来期予想	-5.7	69.3	25.0	▲19.3

設備状況

前期実績	-3.9	76.5	19.6	D.I. ▲15.7
当期実績	-3.8	73.2	23.0	▲19.2
来期予想		76.5	23.5	▲23.5

当期実績…29年 4～ 6月期
来期予想…29年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

収益

前期実績	-7.8	55.0	37.2	D.I. ▲29.4
当期実績	26.9	34.7	38.4	▲11.5
来期予想	23.0	44.4	32.6	▲9.6
前年同期比	25.0	44.3	30.7	▲5.7

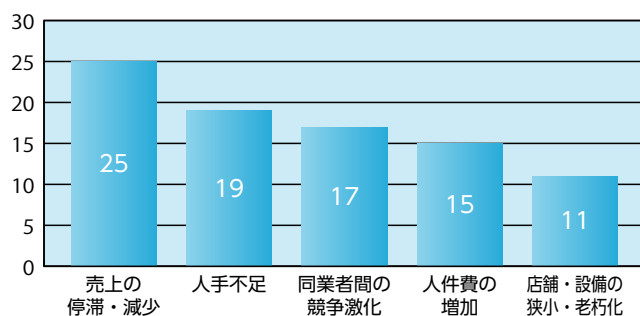
材料価格

前期実績	23.5	74.6	1.9	D.I. 21.6
当期実績	23.0	77.0		23.0
来期予想	23.0	77.0		23.0

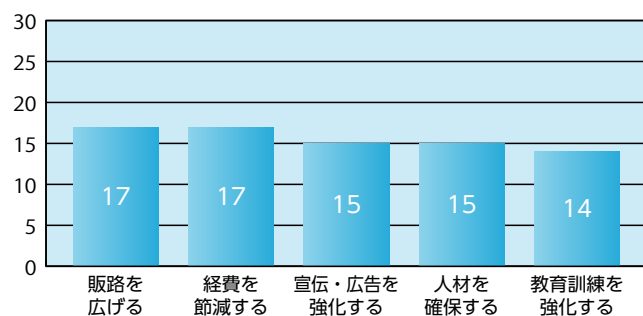
人手

前期実績	-4.0	56.0	40.0	D.I. ▲36.0
当期実績	-7.6	55.9	36.5	▲28.9
来期予想	-3.8	61.6	34.6	▲30.8

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

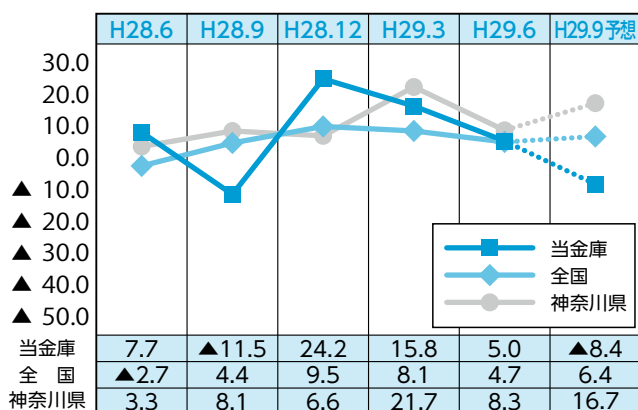
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.8 ポイント悪化の 5.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.6 ポイント悪化の 6.6、収益 D.I. は 30.6 ポイント悪化の▲18.3 となっております。

これは、材料・仕入価格の高止まりとともに、労務費や外注費の増加分を工事単価に転嫁できていない状況から、厳しい収益環境が窺えるほか、約 4 割の企業が、人材の確保を今後の重点経営施策とし、深刻な人手不足も足かせとなっていることから、景況感は、昨年的大幅改善の勢いに一服感がみられ、2 期連続の悪化に至ったものと思われます。また一部では、工事受注の採算改善に向け、元請工事の獲得を目指し、適切な施工体制の確保、経営体制の強化を図る企業も見受けられます。

全国は 3.4 ポイント悪化の 4.7 となっており、神奈川県は 13.4 ポイント悪化の 8.3 となっております。

来期の予想業況判断については、13.4 ポイント悪化の▲8.4 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	35.0	42.2	22.8	D.I. 12.2
当期実績	31.6	43.4	25.0	6.6
来期予想	20.0	51.7	28.3	▲8.3
前年同期比	28.3	51.7	20.0	8.3

請負価格

前期実績	12.2	75.6	12.2	D.I. 0.0
当期実績	10.0	80.0	10.0	0.0
来期予想	8.3	75.1	16.6	▲8.3

在庫

前期実績	1.7	96.6	1.7	D.I. 0.0
当期実績	5.0	93.4	1.6	3.4
来期予想	5.0	90.0	5.0	0.0

人手

前期実績	46.5	53.5	▲53.5	D.I. ▲53.5
当期実績	65.0	35.0	▲35.0	▲35.0
来期予想	63.4	36.6	▲36.6	▲36.6

当期実績…29年 4～ 6月期
来期予想…29年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

収益

前期実績	33.3	45.7	21.0	D.I. 12.3
当期実績	15.0	51.7	33.3	▲18.3
来期予想	13.3	55.1	31.6	▲18.3
前年同期比	30.0	48.4	21.6	8.4

材料価格

前期実績	31.5	68.5	31.5	D.I. 31.5
当期実績	30.5	69.5	30.5	30.5
来期予想	18.3	81.7	18.3	18.3

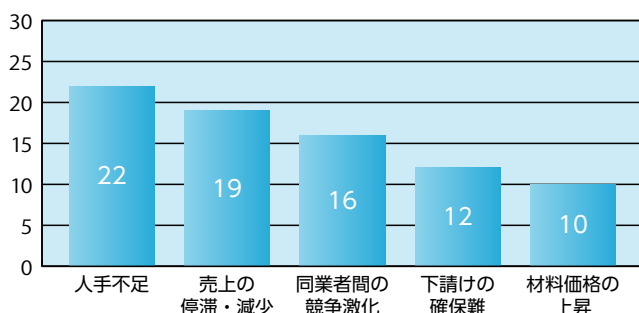
資金繰り

前期実績	7.0	68.5	24.5	D.I. ▲17.5
当期実績	13.5	71.3	15.2	▲1.7
来期予想	11.6	70.1	18.3	▲6.7

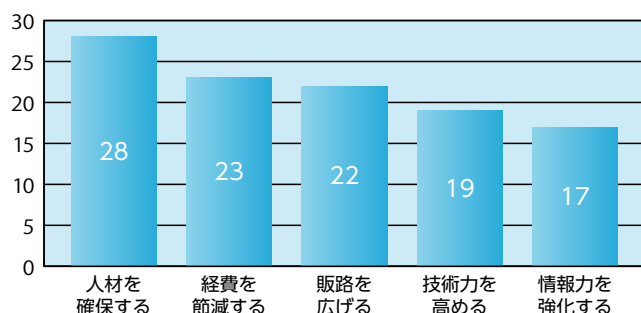
設備状況

前期実績	1.7	89.4	8.9	D.I. ▲7.2
当期実績	1.6	88.4	10.0	▲8.4
来期予想	91.7	8.3	▲8.3	▲8.3

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

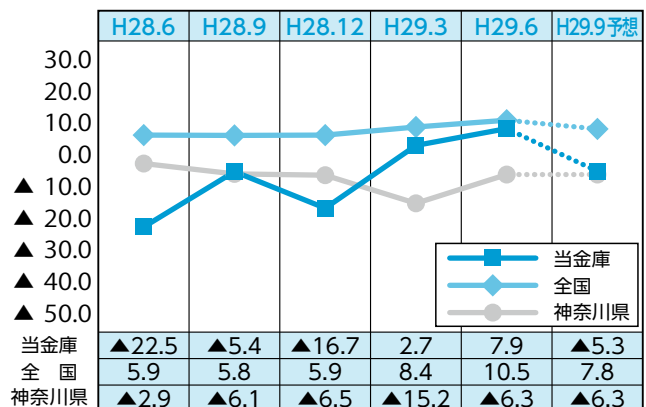
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.2 ポイント改善の 7.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 15.8 ポイント悪化の 0.0、収益 D.I. は 5.3 ポイント悪化の 2.6 となっております。

約 6 割の企業が商品物件の不足を経営上の問題点とし、仕入価格は 26.3 ポイント上昇の 13.2 と上昇感が強まる中、湘南エリアを中心とした商品物件の売却に加え、一部では、顧客ニーズに合わせた低価格帯の建売物件に注力する動きがみられたことから、景況感は 2 期連続の改善となっております。また一部企業においては、新たな地域の顧客層獲得に向け、事務所を移転する動きや不動産の有効活用を検討する動きも見受けられます。

なお、全国は 2.1 ポイント改善の 10.5 となっており、神奈川県は 8.9 ポイント改善の ▲6.3 となっております。

来期の予想業況判断については、13.2 ポイント悪化の ▲5.3 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	36.8	42.2	21.0	D.I. 15.8
当期実績	28.9	42.2	28.9	0.0
来期予想	21.0	58.0	21.0	0.0
前年同期比	28.9	50.1	21.0	7.9

販売価格

前期実績	-10.5	58.0	31.5	D.I. ▲21.0
当期実績	-5.2	68.5	26.3	▲21.1
来期予想	-2.6	76.4	21.0	▲18.4

在庫

前期実績	-7.8	39.6	52.6	D.I. ▲44.8
当期実績	-8.1	48.7	43.2	▲35.1
来期予想	-5.4	48.7	45.9	▲40.5

人手

前期実績	-2.6	71.1	26.3	D.I. ▲23.7
当期実績	-	79.0	21.0	▲21.0
来期予想	-	79.0	21.0	▲21.0

収益

前期実績	31.5	44.9	23.6	D.I. 7.9
当期実績	28.9	44.8	26.3	2.6
来期予想	18.4	60.6	21.0	▲2.6
前年同期比	26.3	52.7	21.0	5.3

仕入価格

前期実績	-10.5	65.9	23.6	D.I. ▲13.1
当期実績	18.4	76.4	5.2	13.2
来期予想	15.7	79.1	5.2	10.5

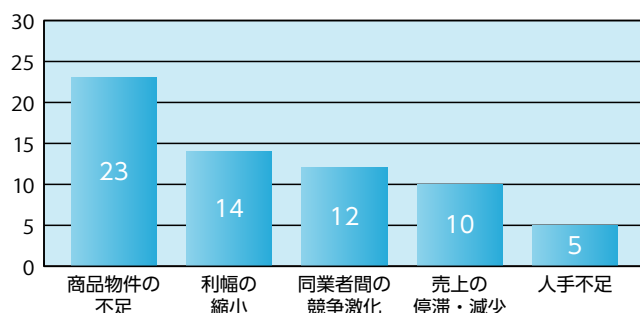
資金繰り

前期実績	-10.5	68.5	21.0	D.I. ▲10.5
当期実績	-10.5	73.8	15.7	▲5.2
来期予想	13.1	71.2	15.7	▲2.6

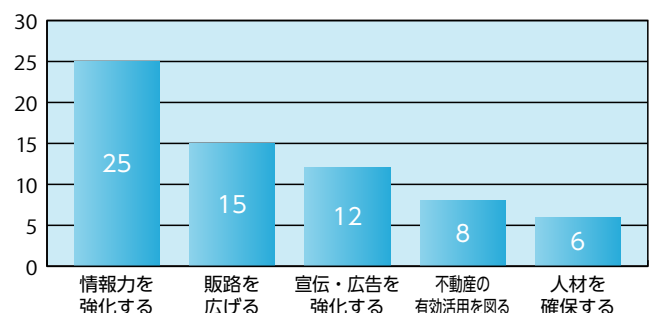
当期実績…29年 4～ 6月期
来期予想…29年 7～ 9月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 346 社にお願いして特別調査を実施しました。

問 1. 貴社では、3～5年後の自社の事業をどのように見通していますか。

- | | | | |
|-------------------|-------|--------------|------|
| ○ 明るい | 12 社 | ○ やや暗い | 51 社 |
| ○ やや明るい | 55 社 | ○ 暗い | 12 社 |
| ○ どちらともいえない | 204 社 | | |

問 2. 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、どのようにお考えですか。3つ以内で選んでお答えください。

- | | | | |
|------------------------|-------|----------------------------|------|
| 1 位 人材 | 194 社 | 6 位 設備・機械等 | 61 社 |
| 2 位 販路・取引先 | 133 社 | 7 位 事業承継等 | 53 社 |
| 3 位 資金 | 102 社 | 8 位 外部情報の入手 | 41 社 |
| 4 位 経営組織・体制（経営力） | 101 社 | 9 位 協力機関との連携（産学官連携等） | 10 社 |
| 5 位 技術・ノウハウ | 82 社 | 10 位 事業継続の意思なし（廃業） | 6 社 |

問 3. 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。右の図も参考に、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 現在の事業を、現状のまま継続したい 147 社
- 新しい販路・市場を開拓したい 116 社
- 新しい製品・商品・サービスを開発したい 33 社
- 全く異なる事業を手がけたい 14 社
- 事業は縮小・撤退する 6 社
- 特に考えていない（わからない） 14 社



問 4. 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。1つ選んでお答えください。

- | | | | |
|--------------------------------------|-------|----------------------------|------|
| 1 位 自社の業況の改善 | 129 社 | 6 位 設備投資税制優遇や補助金等の拡充 | 16 社 |
| 2 位 景気の先行き不透明感の払拭 | 73 社 | 7 位 事業承継の問題解消 | 12 社 |
| 3 位 そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない 34 社 | | 8 位 その他 | 5 社 |
| 4 位 設備の陳腐化・老朽化 | 29 社 | 9 位 I T 化投資の必要性増大 | 5 社 |
| 5 位 すでに積極化している | 20 社 | 10 位 業種転換 | 3 社 |

問 5. 貴社では、3～5年後の事業の継続・発展へ向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいですか。3つ以内で選んでお答えください。

- | | | | |
|--------------------------|-------|---------------------------|------|
| 1 位 補助金・助成金の活用支援 | 125 社 | 6 位 事業承継支援 | 39 社 |
| 2 位 人材確保・育成支援 | 113 社 | 7 位 製品・商品・サービス開発支援 | 24 社 |
| 3 位 販路開拓・マーケティング支援 | 105 社 | 8 位 I T・HP・SNS 活用支援 | 22 社 |
| 4 位 事業計画、経営戦略の策定支援 | 80 社 | 9 位 海外展開支援 | 7 社 |
| 5 位 特に支援を必要としていない | 50 社 | — その他 | 0 社 |

特定創業支援事業創業ハンズオン支援のご紹介

今回は、創業をお考えの方、創業してから 5 年未満の方をサポートする創業ハンズオン支援のご紹介をいたします。

【内容について】

当金庫では、産業競争力強化法に基づき、地域の創業を促進させる施策として、創業支援計画の認定を受けた秦野市、伊勢原市、開成町の支援機関となっております。地域における創業希望者の方が抱える様々な悩みに対し、各種相談や資金調達等の窓口相談を行うと共に、創業に必要な知識を習得していただくことを目的とした特定創業支援事業による創業ハンズオン支援を行っております。

特定創業支援事業による支援を受けた方は、**会社を設立する際の登録免許税の軽減**や**信用保証協会の創業関連保証枠の拡大**等の優遇措置を受けることができます。

詳しくはお近くの中栄信用金庫窓口までご相談ください。



【支援メニュー】

- ① 経営の基礎知識について
- ② 財務の基礎知識について
- ③ 人材育成
- ④ 販路開拓について

※ 1 回 1 時間程度の個別相談指導を、4 回以上、最低 1 ヶ月以上にわたる支援となります。